

新年例会の締め挨拶

日出ロータリークラブ副会長 加賀山 茂

はじめに

新年例会の締めをするということですので、年頭に当たり、次期の活動についての抱負を述べたいと思います。

ロータリークラブの理念は、親睦と奉仕ですが、奉仕については、青少年への奉仕が特に重要だと、私は考えています。

1. 新学習指導要領の衝撃

日出町の今後の発展について話をすると、多くの人が、「日出町には有能な人材がない」などと言われます。「だったら、人材を養成しましょうよ」と私が言うと、多くの人は、今度は、「教員にその力量がない」と言われます。「だったら、教員の質を向上するようにしましょうよ」と私が言うと、その人たちは、「それは私たちの仕事ではない」ということで終わってしまいます。

ところで、子どもの学力向上に関しては、今年から、文科省の学習指導要領が全面改訂され、学校の先生方は、画一的な授業方法を廃止して、「アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）」という教育方法を実施しなければなりません。この方法は、私たちも、先生方も、一度も経験したことのない先進的な方法なので、どのように授業をしていくべきかについて、多くの先生方が悩んでおられます。

2. オランダ・イエナプラン研修への教員派遣計画

新学習指導要領の肝とされている「アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）」について、最も進んだ教育方法を採用して成果を挙げているのは、「イエナプラン」という教育方法を採用しているオランダです。

幸いなことに、オランダでは、このような先進的な教育方法を普及する活動も盛んで、春休みとか、夏休みの2週間を使って、先進的な教育方法を実践的に学べる[オランダ・イエナプラン研修](#)というプログラムが現地で実施されています。

意欲的な先生方が、このオランダ・イエナプラン研修に参加したいと思われているのですが、残念なことに、費用が40万円（実費22万円＋渡航費8万円＋準備費10万円）ほどかかるため、ほとんどの方が断念されているようです。

そこで、日出ロータリークラブが奉仕活動の一環として、日出町の学校の意欲的な教員を、毎年、このオランダ・イエ



ナプラン研修に派遣するという事業を立ち上げるのはどうでしょうか。(会員から賛成の声があがる)

早速、若干名の方から、それぞれ、40万円を支出してもよいとのお声をいただきました。ありがとうございます。

これを契機に、日出ロータリークラブと町や教育委員会と連携して、日出町の学校の先生方を海外に派遣し、日出町のひとりひとりの子どもたちに最高の教育の機会を与え、日出町の子どもたちの将来を明るいものにするよう、努力したいと思います。

おわりに

今後とも、親睦と奉仕、特に、青少年奉仕活動に力を入れていく所存ですので、会員の皆様のご協力をお願いして、新年の挨拶とさせていただきます。



奉仕を鼓舞する人になろう